

科目ナンバリングコード	Kgl2325101	授業科目名	社会思想史		
担当教員名	白井 聡、国際文化学部開講責任者				
履修可能開始学年	2年	単位数	2.0単位	授業区分	週間授業
開講年度	2025年度	開講学期	2025年度4Q	開講曜日・講時	月曜3限、水曜3限
主要授業科目		クォーター開講科目		セメスター開講科目	

科目分類	専門選択科目	抽選科目		教室	
授業形態種別	講義	授業実施形態	対面授業		
相関するDP(カリキュラム年度2017-2020)					
相関するDP(カリキュラム年度2021-)	DP-1 知識と理解	DP-2 創造的思考と考察	DP-3 技術と表現	DP-4 他者理解と協働	DP-5 社会への関心と行動
相関の有無	●	●			●

科目ナンバリングの説明ページへのリンク	https://www.kyoto-seika.ac.jp/campuslife/class/numbering.html	ディプロマポリシー(DP)の説明ページへのリンク	https://www.kyoto-seika.ac.jp/campuslife/class/matrix.html
---------------------	---	--------------------------	---

サブタイトル	近代社会の思想的把握
授業の目的・到達目標	(1)社会思想に関する専門的な概念・知識を体系的に理解できる。 (2)思想史に関する専門的な知識を体系的に理解し、実社会と結びつけながら自らの問いを立てることができる。 (3)自分で立てた問いを社会思想史に関する専門的な知識にもとづいて分析・考察できる。
授業の概要	人類の叡智は「社会」をどのようにとらえてきたのだろうか。本授業では、主に近代以降の幾人かの思想家にフォーカスしながら、社会そのものの変化とそれをとらえる思想の流れを、キーワードとなるテーマを挙げつつ追跡する。
実務経験／実践的教育	
授業計画	1. イントロダクション 2. 神なき時代の秩序……ホッブズ 3. 契約と共同体……ルソー 4. 経済の発見……スミス 5. 自由の発見……カント 6. 理性と自由の哲学……ヘーゲル 7. ヘーゲル主義とヘーゲル批判……フォイエールバッハ 8. 資本主義の暗部……マルクス 9. 生物学と社会……ダーウィニズム 10. 資本主義批判の展開……マルクス主義 11. 近代の不安……ウェーバー 12. 近代の行き止まり……ファシズムとファシズム批判 13. 社会思想の現在① 14. 社会思想の現在② 15. 講義の振り返りと総括
授業外学習の指示(予習・復習・課題等)	

単位制度の趣旨に則り、次に示す授業外学習(自学自習)時間が必要です。【1単位につき週あたりに必要な自学自習時間】クォーター科目：講義・演習 4.5時間、外国語・実習 2.5時間／セメスター科目：講義・演習 2.25時間、外国語・実習 週1.25時間 ※2単位科目の場合は上記を二倍、3単位科目は三倍してください。また、演習科目はカリキュラム年度によって授業時間と自学自習時間の配分が異なりますので、シラバスや科目担当者の授業内での指示に従ってください。この科目では授業外学習として、以下の内容に取り組んでください。

授業で紹介された文献を読むことにより理解を深めること。
単位制度の趣旨に則り、この授業では週9時間の授業外学習が必要になる。

評価方法・評価基準

平常点（授業への主体的参加）2割、期末課題8割、を基準として評価する。
履修条件・留意点及び受講生に対する要望
思想や哲学に対する高い学習意欲が求められる。
購入必須テキスト
参考文献・作品等
参考WEBサイト（サイト名・URL）